

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスlala		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 14日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供(利用児の特性に応じた支援)	<ul style="list-style-type: none"> 指導員間の利用児に関する情報共有の場を定期的により作り、支援の一貫を図る体制を整えている。 利用児の興味や強みを大切にしながらも自立を目指した課題への取り組みをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> より専門性を高めるために、社内研修の充実化を図り、指導員の知識や力量を高める。また、社外研修への参加をより積極的に行い、知識や技術を学び、実践に活かしていく。
2	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時など、日頃から親御さんの相談を受けたり本所での活動の様子について話をし、情報の共有に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、ブログの開設により保護者に日々の活動の様子をより詳しく伝え、安心感と信頼感を高めていく。
3	保護者や利用児の満足度の高さ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが遊びや楽しみの中で学び、成長していくように活動内容やプログラムを考案している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や兄弟を含めた活動の開催等を考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの広さ	<ul style="list-style-type: none"> 「もう少し広いといい」という意見があり、活動スペースの広さに対する改善の余地がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数に応じて活動場所を分散させたり、機の配置を工夫してスペースを最大限に活用する。可能であれば、施設の拡張や新しい活動場所の確保を検討する。 今後も戸外での活動も積極的に取り入れる。
2	地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> 地域での活動やイベントなどへの参加機会が少なく、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ないと感じる保護者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントや活動に積極的に参加し、他の子どもたちとの交流の機会を増やす。地域の施設や団体と連携し、共同でイベントを開催することも検討していく。
3	家族支援プログラムの充実	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムや家族が参加できる研修会の機会が少ないと感じている保護者がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ペアレントトレーニングの一貫として保護者の研修会や勉強会等の機会を設けたり、保護者同士の交流の場を検討していく。家族向けの情報提供や相談の場を設ける。